

ゆとりある教育を求め 全国の教育条件を 調べる会 ニュース

2019.12.15発行

NO. 58

★冬の研究会ご案内

★事務局長、再び高知へ

調べる会・冬研は、 仙台です！

2020年 1月25日、26日

宮城県教職員組合・他諸団体開催の 教育問題学習会への参加とします。

「先生がいなくて、おかしくない？」と題した学習交流会が、仙台市で開催されることになりました。サブテーマは、「子どもと学校にゆとりを求める学習交流会」「小学校3年生からも35人学級にしてほしい！」のふたつです。

講演を調べる会事務局長が行い、調べる会員の研究発表も行います。ご当地宮城県、仙台市の状況について、現地からの報告もありますし、調べる会の分析もお伝えして、交流を図りたいと考えています。ぜひご参加ください。

開催の運びとなった経緯については、2頁に。

(詳細は、チラシをご覧ください。)

* 参加申し込みは、FAXで宮城県教組にお問い合わせいたします。

高知・高岡教組

2019 パワーアップ集会で

山崎事務局長が講演

11月22日(金)高知県高岡教職員組合主催の2019パワーアップ集会において、山崎事務局長が「働き方改革は人と予算 ～今、スタンダードが求められる理由とは～」と題して講演しました。

折しも高知県知事選挙の真っ最中。10月にも高知県で講演をしたばかりでしたが、まだまだ、もっとも調べる会の活動を知らせていく必要があると感じました。(詳細は3頁)

愛教労 (愛知県教職員組合協議会) で

調べ方講習会 広報担当：橋口幽美

11月26日～27日、お引越直後の組合事務所「教育条件の調べ方講習」を行いました。2台のパソコンを並べて、マン・ツー・マンでの講習。適宜休憩をはさみながら、四方山話も楽しいものでした。

講習を熱心に受けて下さった近藤友伸様、コーヒーを淹れて下さった近藤直子様、暖かく見守って下さった愛教労の皆さま、ありがとうございました。

情報公開請求しています。

例年、調べる会が行っている国庫負担金に関する公文書の「公開請求書」を提出しました。

文書の取得は、来年の2月頃になります。今年度の会費を納入して頂いた方にCDをお送りする予定です。

◆新年度会費の納入を
お願いいたします

(会計年度は、8月～7月です。)

ゆうちょ銀行

名前：全国の教育条件を調べる会

番号：01750-5-132608

正会員	年間	5千円
学生会員	〃	1千円
賛助会員	〃	2千円

* 過年度については、必ずしも納入していただかなくても良いです。ただし、CDが必要な年度については、納入してください。

仙台での学習講演会開催に至った経緯について

宮澤孝子（東北生活文化大学）

今年度の冬の調べる会研究会が仙台にて開催されることとなりました経緯について、紹介させていただきます。私事ながら、今春から仙台市内の大学に勤務することが決まり、その際、調べる会事務局長の山崎先生より「今後は仙台でも研究会ができるようになりますね」とお話をいただいております。それが何年後になるかわかりませんでしたが、いつか仙台でも調べる会をお招きして、研究会を開催できるように準備できればと思っていました。しかし、仙台に赴任して1ヶ月も経たない頃、話はとんとん拍子に進んでいきました。

きっかけは、今年4月27日（土）の午前中に仙台市で開催された「教育を読む会」（みやぎ教育文化研究センター主催）、および、同日午後開催された講演会「子どもの権利条約から見た日本の教育の課題」（民主教育をすすめる宮城の会主催）でのことです。

「教育を読む会」には、仙台に赴任する前からお世話になっていた山岸先生や本田先生から声をかけていただいております。みやぎ教育文化研究センターの方々のご挨拶させていただきました。そして、同日午後の講演会は、新潟大学時代の指導教官である世取山洋介先生による講演でした。（その後の関係者による懇親会は宴会でした。）この日をきっかけに、これまでお世話になった大学の先生方から、市民の会、研究センターの方々、そして、教職員組合の先生方という、宮城の教育に携わっておられる方々との輪を繋いでいただきました。

それ以来、教育を読む会や、教育のつどい等に参加する中で、仙台市・宮城県の教育の実態が見え始めてきました。中でも問題になっていたのが、宮城県の「教員不足」の実態でした。8月には、10月に開催される東北・北海道ブロックの教組共闘の学習会に参加させていただき、そこで、宮城県の教職員配置の実態を分析し、報告させていただくことになりました。ちょうど8月に宮崎県の調べる会資料室「あ壮」に訪問する予定を組んでいたのも、橋口さんから手ほどきを受けました。「あ壮」での勉強合宿の後、宮城県の教職員配置についてメールや電話で一緒に分析をしていただきました。

10月の教組共闘の学習会では、宮城県教職員配置分析の報告は終えたものの、データ収集から分析まで、課題は多く残されました。これはもはや調べる会の冬の研究会を仙台で開催するしかないと思い、宮教組の先生方に調べる会の研究会について紹介させていただき、また、調べる会の山崎先生にも仙台市にお越しいただけないか連絡をしました。もちろん宮教組の先生方も山崎先生のお返事も、「是非とも」ということでした。こうした経緯で、かねてから仙台で調べる会の研究会を開催しようと言っていたことが、年度内に実現する運びとなりました。

仙台市および宮城県は、市民と教員と研究者が、ともに築き上げてきた教育運動の組織基盤がある地域だと感じています。教員不足の他にも、東日本大震災と関わる問題などの地域特有の教育問題を抱えています。現場の先生方の愛と情熱、頑張りに頼りきりになっている現状は限界地点にきていると思います。教員定数問題は確かに複雑で難しく、投げ出したくもなります。しかし、今回の研究会をきっかけに、少しずつ、理解できるところから、一人一人が考えることができれば、それが教育条件整備の一步になると確信しています。今回の仙台市での冬の研究会開催をご快諾くださった、調べる会小宮会長ならびに事務局の皆様、心より御礼申し上げます。

◆高知高岡教組 2019 パワーアップ集会

11月22日（金）高知県高岡教組主催の2019パワーアップ集会において

山崎事務局長が「働き方改革は人と予算 ～今、スタンダードが求められる理由とは～」

と題して講演しました。データをもとに、高知県の教職員配置の様子や「学校における働き方改革」について話しました。

高知県須崎市にある高岡教育会館に集まった教職員約30名の教職員のみなさんは、その後支部ごとに集まって討議をされました。次のような意見が出されました。

- 「教職員の定数充足率が全国ワーストなど、はじめて聞いた衝撃的な話ばかりだった。」
- 「教育委員会に『お願い』するのではなく、法律や制度に基づいて当たり前を求めていかななくてはいけないと感じた。」
- 「県政国政を変えれば教職員を増やし、教育予算を増やしていけることがわかった。」

<高岡教組 白瀧知之さんの感想>

高岡教職員組合パワーアップ集会は、毎年組合員の新規加入に向けて組合員が元気になるために取り組んでいます。まさに、山崎先生のお話はどんぴしゃで、参加者全員が怒り、驚き、納得するとともに、これを周りにいる同僚に伝えないでどうするか。との思いを持つことになりました。

翌日に参観日を控えたハードスケジュールの小学校からの参加者は、自分たちの忙しさが、国の枠組み以上に人減らしの状態を放置した結果であることに呆れ、この間職員増にむけて取り組んできたことがやはり大切であると再認識していました。

私自身、交渉に臨む姿勢が随分と確信になったように感じます。正すべきところをきちんと指摘し、教委も一緒になってより良い環境作りに努めようと訴えることに、なんの後ろめたさもないとよく分かりました。

参加は満員ではありませんでしたが、若い方もおいででしたし、今後の対話につながる会となりました。山崎先生には、沢山の元気になるお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

先生がいなくて おかしくない？ 子どもと学校にゆとりを求める学習交流会



小学校3年生からも 35人学級にしてほしい！



主催：宮城県教職員組合

共催：民主教育をすすめる宮城の会

仙台の子どもと教育をともに考える市民の会

出産や育児、病気療養のため長期間先生がお休みする場合、代替の先生が必要ですが、“見つからない”という事がひんぱんに起こっています。県内の小中学校（仙台市を除く）で、現在、約100人の先生が足りないという事態となっています。このことは、先生たちの働き方に直結する課題であり、子どもたちの学ぶ権利にも影響する問題です。

先生の数はどうやって決まっているの？

なぜ不足しているの？

少人数学級を進めるにはどうすればいいの？



子どもたちのための教育・学校・条件整備について共に語り合しましょう。

日時

2020年1月25日(土)・26日(日)

1日目/受付 13:30/開会 13:45/現地報告・講演 14:00～16:40

2日目/受付 9:00/全国報告 9:30～15:00<昼食・休憩 60分>閉会 15:10

※ 25日(土)に交流会を実施します。(参加費実費・場所は未定)

場所

フォレスト仙台4F 会議室

〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木 1-2-45

現地報告

- ①宮城県・仙台市の教職員定数の現状と課題
- ②質疑・討論・意見交流

参加費
無料

講演

「いま学校に必要なのは人と予算

—『働き方改革』をまっすぐ教育条件整備へ—」

山崎 洋介さん(ゆとりある教育を求め全国の教育条件を調べる会)

申込み 問合わせ

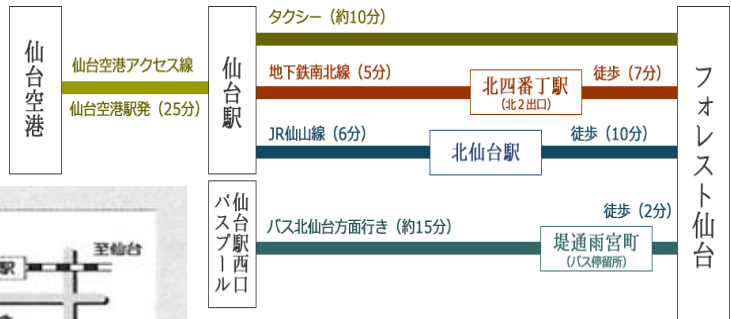
下記様式にて、FAXでお申し込みください。
2020年1月22日（水）〆切

教職員・保護者・学生・一般を問わず、関心のある方でしたらどなたでも参加できます。

申込み・問合わせ先：宮城県教職員組合 TEL：022-234-4161 FAX：022-274-2130

※ 宿泊先の確保は各自でお願いします。

アクセス



子どもと学校にゆといを求める学習交流集会参加申込

フリガナ 氏名	所属 (学校名)	緊急連絡先 (携帯番号)	参加日程			
			1日 目	交流 会	2日 目	備考
ミヤギ 太郎	宮城県教組	090-.....	○	○	○	

お申し込みは、下記のFAX番号へ。

FAX:022-274-2130